

令和4年度中川区区政運営方針（案）に対する区民意見の内容及び区の考え方

令和4年度中川区区政運営方針の策定にあたり、案に対する意見をお寄せいただき、ありがとうございました。

お寄せいただいた意見の概要とそれに対する区の考え方は以下のとおりです。

1 施策 1-1 地域防災力の向上

（1）No.1 「地区防災カルテ」を活用した防災活動の推進

①地域特性に応じた防災活動を洗い出すための支援

No.2 ②地域特性に応じた防災活動の実施

意 見	ハザードマップが具体的に自分の町内会がどの色に塗られているのかわかりにくい。町別に数字を出してもらえないか。
考え方	ハザードマップの作成は名古屋市防災危機管理局が行っており、いただいたご意見について確認したところ、以下の回答をいただきました。 「新しいハザードマップの色使いは色覚障害のある方への配慮により変更しているものです。また、申し訳ございませんがハザードを町別には管理しておりません。（防災危機管理局）」 誠にお手数をお掛けして申し訳ありませんが、町内会別のハザードにつきましては、令和4年6月頃に公開される「地区防災カルテ」に掲載される各ハザード（学区単位）をご確認いただき、町内会別に作成いただくことになります。 地区防災カルテの事業の趣旨でもあります学区の特性に応じた防災活動の一環として取り組んでいただく場合には、区といたしましてもできる限りの支援をしてまいりますので、よろしくお願いいたします。 （総務課）

2 施策 1-2 防犯対策・交通安全対策の推進

（1）No.9 地域における自転車パトロールの推進

No.12 自転車乗車時のヘルメット着用推進

意 見	2つの事業は一体化したらどうか。
考え方	9については住宅侵入盗などの犯罪が多発している学区を対象に、自転車を利用し、自主的及び日常的な防犯パトロールを行い、地域の犯罪の抑制することを目的としております。 一方、12については交通安全強化学区において、自転車運転の正しい知識やヘルメットの着用について実践していただくとともに、地域の方々へヘルメット着用を日常的に呼びかけてもらうことにより自転車運転の死亡事故等の抑制を目的としております。 このように事業の目的・方法が異なるため、一体化する事業としてとらえておりませんのでご理解をお願いいたします。 （地域力推進室）

(2) No.11 地域の力で子どもを守る交通安全見守り事業

意見	子どもを見守るはずの大人の自転車のマナーが以下のように悪いため、子どもの交通安全教室・宣言だけでなく、大人への教育・取り締まりを徹底すべきではないか。 ①車道の右側通行（逆走）②一旦停止で止まらない③複数人での並走④歩道で歩行者をスピードを落とさず後方からすり抜けていく
考え方	中川警察署とも情報を共有し、大人に対しても交通安全啓発活動・交通事故抑止キャンペーンなどで啓発を行ってまいります。 (地域力推進室)

意見	地域住民・警察等の協力で児童らの交通安全・生活安全を高めてほしい。
考え方	地域の皆様と協力し、中川警察署や交通指導員とともに、毎日の通学や交通安全教室で児童への交通安全・生活安全を高めてまいります。 (地域力推進室)

3 施策 1-3 快適に暮らせる環境づくり

(1) No.13 クリーンキャンペーンの実施

意見	中川区は鉄道路線に数多く面しているが、鉄道会社が鉄道沿いの道の清掃を全くせず、地域住民が無償でしている。大企業からクリーンキャンペーンを実施してもらいたい。
考え方	クリーンキャンペーンは、「環境デーなごや全市一斉クリーンキャンペーン」の「地域行事」として市民・事業者・行政協働のもと行っております。 より多くの事業者の方にご参加いただけるよう、区としても広く周知していきたいと考えております。 (地域力推進室)

意見	クリーンキャンペーンについて年に1回ではなく、季節の変わる四半期ごとに実施することを検討してほしい。
考え方	クリーンキャンペーンは、「環境デーなごや全市一斉クリーンキャンペーン」の「地域行事」として、市民・事業者・行政協働のもと、「まちを美しくする運動」の意識づけの一環として行っております。 クリーンキャンペーンを通じ、地域で年間を通してまちを美しくする活動ができるよう努めていきたいと考えておりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。 (地域力推進室)

(2) No.14 空地・空家等の適切な管理の推進

意見	空地への不法投棄が絶えないため、住民等でもやめさせたい。
考え方	引き続き、地域の皆様と協力し、迅速な実態調査・対応を実施し、所有者に対し適切な管理を依頼していきたいと考えております。 (地域力推進室)

4 施策 2-1 子育て環境の充実

(1) No.18 中川区シェアブックス事業

意見	読み聞かせボランティアを幅広く募集して、対象者が2〜3名でも気楽に開催できる雰囲気づくりを行ってほしい。
考え方	本事業の読み聞かせについては、規模の大小にかかわらず、子育て家庭が気軽に参加できる場所での読み聞かせを積極的に提供してまいります。計画目標に掲げた活動件数に限らず、子育てを始めた世帯に絵本と触れあう機会を作りたいと考えておりますので、ご理解いただきますようよろしくお願いいたします。 (民生子ども課)

(2) No.21 子育て家庭向け交流イベントの開催

意見	いい子を育てるには挨拶のできる子どもにすることがよく、大人が道で声をかけるとコミュニケーションもできるようになる。挨拶ができように指導をしてほしい。
考え方	本事業で実施するイベントは、子育て家庭が悩みを抱えて孤立化することを防ぐために、子育て家庭同士や地域との交流を生みだし、継続的につながるきっかけとなることを趣旨として開催してまいります。 (民生子ども課)

5 施策 2-3 健康でいきいきと暮らせるまちづくり

(1) No.33 高齢者が地域で暮らしていくための生活支援・見守り支援

意見	高齢者や一人暮らしの方を回りの人が手助けして避難するように防災訓練を行っているが、参加者が同じ顔ぶれで元気な人ばかりである。民生委員から要支援者等の情報を出してもらえないか。
考え方	民生委員には民生委員活動で取得した個人情報に対する守秘義務が課せられています。 そのため、ひとり暮らし高齢者であるなどの支援の必要性を判断する情報であったとしても、本人の同意なく地域へ提供することができません。 なお、災害発生時など緊急かつやむを得ない場合であって、本人の生命・身体等の保護のため必要と認められる場合に、そうした情報を活用することは妨げられておりませんのでご理解賜りますようお願いいたします。 (福祉課)

意 見	中川区は他区と比べて高齢者の比率が高いと思われる。生活支援で巡回しているときに社会に溶け込むことができない高齢者に対してどう取り組むのか悩んでいる。
考え方	社会に溶け込むことができない高齢者に対しては継続的に見守りを行うことが重要であると認識しており、ひとり暮らし高齢者等へ的高齢者福祉相談員や民生委員による訪問活動を通じた見守り等の取り組みを実施しております。 また、いただいたご意見を参考としながら高齢者の身近な交流の場となる高齢者サロン等に気軽に参加できるよう工夫するなど、高齢者の社会参加を促進する取り組みを進めてまいります。 (福祉課)

(2) No.36 区民の健康づくりの推進

意 見	コロナ禍でロコモティブシンドローム対策運動ができなかったが、今後はフレイル対策を含めた活動とし健康寿命を延ばす運動を続けることが必要である。
考え方	コロナ禍でも元気でいきいきと生活できるよう、区民まつりにおける健康相談や地域のサロン等において、ロコモティブシンドロームやフレイルについての予防運動や知識等の普及啓発を行っていききたいと考えております。 (保健センター)

6 施策 3-2 まちの魅力の発掘・発信

(1) No.39 川と歴史を人がつなぐまちづくりプロジェクト ～前田利家公がつなぐまちづくり～

意 見	昨年参加した。地元の商店のお菓子やお酒を楽しめた。
考え方	令和2年度のスタンプラリーにご参加いただき、ありがとうございます。令和3年度、「前田利家オリジナル商品取扱店」を荒子周辺から一柳通商店街へ広げ、店舗数も4店舗から9店舗へ増やすことができました。今後も取扱店拡充に取り組み、区全体で前田利家公生誕地として盛り上げてまいりたいと考えております。また、令和4年度は「戸田まつり」を中心に富田地区の魅力発信に取り組み、東西に広い中川区の多様な魅力を区内外へ伝えていきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。 (地域力推進室)

(2) No.40 川と歴史を人がつなぐまちづくりプロジェクト

～戸田の伝統文化がつなぐまちづくり～

意見	戸田の歴史的・文化的遺産の魅力発信をするために説明板などを整備することは大変結構なことである。これに加えて以下の3点の追加をしてほしい。 ①街歩き散策ルートを戸春橋交番前に掲示してほしい。 ②現在の「前田・戸田ふるさとコース」には前田城跡の記載があるが、戸田城跡の記載がないため、場所を特定して散策コースで紹介してほしい。 ③「富田荘絵図」を紹介する説明板を散策ルートに付属して設置してほしい。
考え方	① 令和4年度の事業として、戸田のまちの魅力発信マップの作成を掲げておりますが、作成したマップの活用として、まち歩きイベントの実施や、さらには散策ルートの策定は、今後の検討課題であると捉えております。また、マップの周知方法については、戸春橋交番前の掲示の可否も含め検討を行い、広く周知してまいりますので、ご理解をお願いいたします。 ② 史跡散策路のマップにはご指摘のとおり戸田城跡の記載はありませんが、令和4年度作成予定の戸田のまちの魅力発信マップには、戸田城跡の記載について検討してまいります。 ③ 令和4年度の事業で「戸田まつり」の山車やからくりの案内板設置を計画しておりますが、「富田荘」についての案内板設置については計画していません。しかし、「富田荘」は歴史も古く、今もなお当時の地名が残っているなど現代に繋がる遺産と言え、後世に語り継ぐべきものと考えております。広報なごやを始め、機会を捉えて多くの方へ伝えてまいりますので、ご理解をお願いいたします。 (地域力推進室)

意見	コロナ禍で中止が続いた戸田まつりが大祭を迎えるため、まつりを行う大切さと意義が感じられることを期待している。地域に馴染みのない人も増えてきているため、当該事業はまつりの開催時だけでなく興味をもつ良い取り組みだと思う。次世代の人々と高齢者が地域のイベントや郷土学習に関心を持ち、参加をどこまで促せるかが、人の交流、支えあい魅力あるまちづくりにつながると思う。
考え方	ご意見いただいたとおり、郷土愛や区への愛着を育むためには、まずは郷土に関心を持っていただくことと考えております。さらに子どもたちを対象にすることで、未来に繋がる取り組みとなればと考えております。また、地域活動への参加を促すことで、コミュニティ力の向上を目指してまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。 (地域力推進室)

(3) No.41 川を生かしたまちづくり

意見	中川運河は区内の川では一番汚れがひどいと思われるが、所々浚渫工事を行っており、川がきれいになり、周辺の景観が少しずつ変わっていくことが楽しみ。最近では鴨をよく見かけるが大いに癒しになる。
考え方	中川運河は物流の役目を終えつつあり、名古屋市と名古屋港管理組合は再生計画でも「憩いやふれあいの場」といった新たな役割を創出することを掲げています。中川区役所としても中川運河において、魅力発信の事業を通じて、区民の皆さまが交流できる場となるよう努めてまいります。 (地域力推進室) 中川運河については、暮らしとモノづくりの発展を支えてきた歴史的役割を尊重しながら、広大な水辺の価値を見出し、うるおいや憩い、にぎわいをもたらす運河へと再生させるため中川運河再生計画を策定しております。この計画に基づき、運河の水循環の促進や、各ゾーンの土地利用イメージに合わせた交流・創造の場の創出やそれに合わせた緑化推進などの取り組みを、周辺の開発・土地利用を見極めながら進めてまいります。 (住宅都市局)

意見	戸田川は景観が他の川に比べて劣っており、清掃活動の前に老朽化したフェンスの更新や除草作業不要の舗装などによる遊歩道の整備など、環境整備を進めてほしい。
考え方	老朽化したフェンスについては、不安全な状態となっている施設を発見・通報いただいたものはその都度修繕しております。今後とも適正な維持管理に努めてまいります。 戸田川沿いの未舗装箇所は管理者が河川巡視や点検のために設けている河川管理用通路であり、必ずしも舗装を必要とせず、年1回の除草作業を実施しております。遊歩道の整備等については、その必要性も踏まえて検討してまいります。 ご理解いただきますようお願いいたします。 (地域力推進室・中川土木事務所)

意見	中川運河や庄内川など水辺の環境が以前よりよくなってきた。水質や緑化、照明、歩道の整備をしてほしい。
考え方	中川運河については、暮らしとモノづくりの発展を支えてきた歴史的役割を尊重しながら、広大な水辺の価値を見出し、うるおいや憩い、にぎわいをもたらす運河へと再生させるため中川運河再生計画を策定しております。この計画に基づき、運河の水循環の促進や、各ゾーンの土地利用イメージに合わせた交流・創造の場の創出やそれに合わせた緑化推進などの取り組みを、周辺の開発・土地利用を見極めながら進めてまいります。 (地域力推進室・住宅都市局)

(4) No.45 中川区みんなで歌おう第九コンサート

意見	スタッフと区民の頑張りでいいコンサートができる。中川区には合唱団もあるため、レベルが上がれば区の魅力の1つになる。
考え方	「中川区みんなで歌おう第九コンサート」は、区制70周年となる平成20年から5年ごとに実施しており、今回で4回目となります。これまでの間も継続して活動されている地域の合唱団を主体とした実行委員会と協働して開催し、文化振興を図るとともに、地域の連帯感を生みだすことを目指しております。また、ご意見いただいたとおり、今後も続けていくことで、「中川区といえば第九」と、区の魅力になっていくと考えておりますので、よろしくお願いいたします。 (地域力推進室)

7 第5章 めざすまちの姿の実現に向けて

(1) No.49 町内会・自治会の加入促進

意見	町内会はお節介焼きのポジションで参加の説得は難しい。回覧板のウェブサイト掲載を進めると、町内会に入らなくても情報がもらえることになりそうで心配。
考え方	中川区ウェブサイト内の「電子回覧板」はコロナ禍における新しい生活様式を取り入れた情報伝達手段の一つの形として、また、組回覧を担当される方の負担軽減を目的として、区役所等から地域の皆様へ組回覧等をお願いしたもののについて掲載しております。 町内会・自治会の役割は情報発信にとどまらず、災害時には町内会・自治会を通して付き合いのあるところほど、隣近所などでお互い助け合うことにより救助が進み、復旧が早くなるなどの長所があると言われています。 区役所としても、地域をよりよくしていくために町内会・自治会を通じてふれあいの輪が広がるよう、町内会・自治会活動の必要性について広く周知し、加入促進に努めていきたいと考えておりますので、今後ともご理解とご協力をお願いいたします。 (地域力推進室)

意見	単身専用住宅が多くなり町内会・自治会の加入が少なくなっているのが現実。加入してもメリットがないと判断されれば加入率が下がるため、まずは町内会の魅力づくりから行う仕組みが大切ではないか。
考え方	町内会・自治会は、自分たちの地域をより良くしていくことを目的とした任意の住民自治組織です。災害時には、町内会・自治会を通して近所付き合いのあるところほど、隣近所などでお互い助け合うことにより救助が進み、復旧が早くなるなどの長所があると言われています。 地域をより良くしていくために、町内会・自治会の活動を通じたふれあいの輪づくりは重要と考えております。 区役所では町内会・自治会加入促進チラシを作成し、転入時に窓口で配布したりする他、中川区ウェブサイトなども利用し、町内会・自治会活動の必要性について広く周知し、加入促進に努めていきたいと考えておりますので、今後ともご理解とご協力をお願いいたします。 （地域力推進室）

8 その他

意見	これからは各事業がどれだけ住民に浸透するかにかかっている。今後グローバルな観点から SDGs の目標の一環として位置づけた見方でまとめていき、世界が共存するための活動であることを区民に広げていくことが大切ではないか。
考え方	SDGs につきましては、中川区将来ビジョンで定めた「めざすまちに向けた取り組み」において該当する目標を表示しております。区政運営方針は中川区将来ビジョンで示す取り組みに基づいて作成しており、事業ごとの目標はほとんど変わらないことから、表記は省略させていただいております。しかしながら区政運営方針内で SDGs の目標を改めてお示しすることも必要だと思いますので、事業シート外の項目で総括的にお示しさせていただきます。 また、各事業をより浸透させることにつきましては、区政運営方針の概要版のデザインや設置場所の工夫等と併せて、中川区将来ビジョンも多くの方にご覧いただけるようすることで対応してまいります。 （企画経理室）